

その他の土石採取業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故 故 の 型	労働者 規 模
2017	2	16~17	被災者を含め4名でロッドミル廃鉱口結合作業を行っていた際、微調整のためにレバーブロックを使用していた時に、バランスを崩して50cm下の廃鉱口側の網の上に転倒した時に左足親指を強打した。	48	416	2	1~9
2017	3	9~10	製品積込終了後、積込用コンベアーのホッパー内シュートを掃除する為、足場（60cm×2m）から梯子（高さ2m）を登り掃除した後、梯子を下りる際、足場に放置してあったアングル（長さ60cm）の上に左足が乗ってしまい、足首を捻り負傷した。	59	921	19	10~29
2017	4	12~13	当社採取場から事務所機材センターに帰る途中に車で走行中に、反対車線に入り、右側の電柱に正面衝突して車は全損した。	59	231	17	100~299
2017	12	8~9	就業場所の当社プラントに出勤後、作業準備を済ませ、作業場に向かおうと徒歩で当該敷地内を移動中、転倒により負傷したものと思料される。当時、地面には約10cmの積雪があり、その上でヘルメットを着用したまま仰向けに倒れていたところを現認者が発見し、直ちに救急搬送の上、当日の勤務時間中に病院を受診した。本人の注意不足による雪上歩行及び使用者側からの安全教育不足が当該事故の主原因と思料される。なお、失神の疑いもあるため、現在経過観察中である。	65	719	2	10~29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html